



# りんご通信

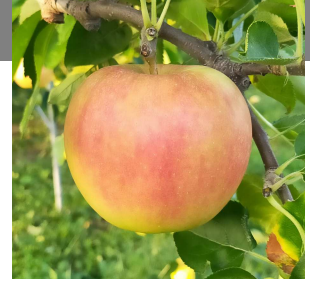


～中生種の生育状況と今後の管理について～

## 1. 品質は熟度先行！収穫時期に注意！

### ■ 中生品種の生育状況

- 9月が収穫期の中生品種は、着色が遅れているものの、**地色の進み、デンプンの抜けが早く、糖度が高い状況**
- 一方、硬度は硬く、今年と同じく8月が高温であった平成22年と同様の傾向（着色が少ないうちに盛期となった年）



「秋陽」の果実外観  
(R5.9.13撮影、園芸研)

品種	年次	園地	落果防止剤	調査日	着色 (%)	地色 (0-5)	硬度 (lb)	ヨード反応 (0-5)	糖度 (Brix)	糖酸比
秋陽	R5	園芸研	ヒオモン	9/11	7.8	4.6	17.5	1.9	13.4	30.8
		現地	ヒオモン <sup>1</sup>	9/13	14.5	4.0	17.6	2.2	13.8	30.7
	ストッポール <sup>2</sup>		9/13	14.1	5.2	15.1	1.3	13.6	41.4	
	H22	園芸研	ストッポール	9/14	7.1	3.9	17.2	2.6	12.0	27.3
				9/28*	39.0	5.2	14.0	1.0	13.6	36.8
昂林	R5	現地	ストッポール <sup>3</sup>	9/13	12.2	4.5	14.8	2.2	13.6	41.6
	H22	園芸研	ストッポール	9/17	28.3	4.0	16.0	1.7	12.9	43.0
				9/24*	38.8	4.4	14.2	0.6	13.5	48.2

1:朝日町、大江町、東根市、米沢市のデータの平均 2:山形市、天童市のデータの平均 3:天童市、朝日町、大江町のデータの平均

\* 平成22年の収穫盛期

### ■ 収穫判断のポイント

- 例年よりも早く地色や糖度が収穫期の目安に達している園地がみられます **着色よりも地色・食味を重視して、もぎ遅れないようこまめに収穫しましょう**
- ストッポール液剤を使用した園地では、特に熟度の進みが早くなります
- 今後の品種も、食味・品質の経過を注意深く観察しましょう

#### <各品種の収穫適期の目安>

品種	地色	硬度	ヨード反応	糖度	酸度	糖酸比
秋陽	5.5前後	14~15.5	1.0~1.5	14.0以上	0.4前後	30以上
昂林	4.5以上	12.0以上	1.0前後	13.0以上	-	-
シナスweet	4.0以上	11.0以上	1.0~2.0	13.0以上	-	-

## 2. 引き続き暑さに注意して管理を行いましょ

- 7日間、まとまった雨がな場合は、積極的にかん水
- 日焼けの発生に注意しながら、着色管理を実施しましょ

